



集荷は 8 月上旬まで続く

小麦の収穫作業風景

2019年産小麦の収穫作業が7月16日から雨竜地区で始まった。

5月下旬以降の好天や高温の影響で例年より生育が早まっており、昨年に比べると約1週間ほど早い収穫作業の開始となった。同日より出荷も始まっており、当JAの広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設では連日集荷・乾燥調製作業が忙しく行われている。

農産課 斉藤基課長は、「品質については、干ばつが影響しやや細麦だが、昨年に比べると順調に生育しており収量も多くなる見込み」と話す。

JAきたそらちでは、ホームページとFacebookで、魅力満載の情報を発信中です！ ぜひ、ご覧ください！



～目 次～

- ◆女性部 各支部視察研修を実施 ― 5
- ◆GPS基地局設置に伴う
ホクレン説明会 開催 ― 7
- ◆組合員の集い 各地区で開催 ― 8
- ◆空知管内JA野球大会 優勝 ― 11

拓殖短大1年生による

JA施設見学



7月17日、拓殖大学北海道短期大学 農学ビジネス学科の1年生35名が当JAの青果部野菜集出荷施設と深川マイナリーの施設見学を行った。同大同学科では広く農業を知るという目的で、毎年1年生のゼミナールの一環として施設見学を行っている。

青果部野菜集出荷施設では青果部青果課の川本雄太主査が施設内を案内し、管内で栽培されている青果物の種類や同施設で行われている共選の仕組みなどについて説明した。その後は深川マイナリーに移動し、深川支所米穀施設課の岡林良幸課長が同施設内の設備や出荷された粳米が玄米になるまでの工程などを説明した。

「大学から見えるJAの施設をさらに身近に感じることが出来た。農業者やJA職員などが苦労して農産物を集出荷していることを知り、見学を通して食に対するありがたみを考えさせられた」と感想を述べる学生もいた。

7月5日には、両施設で深川小学校と北新小学校の児童による施設見学も行われた。



販売部

空知地区水稻直播連絡協議会による現地研修会



7月4日、空知地区水稻直播連絡協議会が主催する水稻直播の現地研修会が開催された。参加したのは、空知管内で水稻直播栽培を実施する生産者63名で、北中空知班と南中・南々空知班の2班に分かれて空知管内の直播圃場を視察した。

「湛水直播」がテーマの北中空知班は現地研修を実施し、深川市が試験展示圃を設置している深川市農業センターを訪れた。空知農業改良普及センター北空知支所の田村光彦氏が、同センターで栽培試験中の水稻直播用新品種「えみまる」と「ほしまる」の生育状況を苗立率などから比較し、「えみまる」の特徴を説明した。田村氏は「今年は昨年よりも生育状況が良く、追肥も適期に行えたので順調だ」と話す。参加者は日頃抱えている悩みなどを普及職員に相談した。同市後は、JA北いぶき管内（妹背牛町）とJA新すながわ管内（奈井江町）の2圃場を視察した。

圃場での現地研修を終えた2班は、岩見沢市の空知農業会館で合流し、検討会を開いて視察した圃場の講評及び販売単価や適切な播種量等について活発な意見交換が行われた。



【米穀課 松田】

ライスランドふかがわ「大誕生祭2019」

青果部



6月30日、深川市道の駅ライスランドふかがわで「大誕生祭2019」が開催され、同道の駅内の当JA農産物直売所eciRでは、きゅうりとピーマンの特価販売などを行った。オープン前から直売所の外には行列ができ、この日準備したきゅうり128kg、ピーマン75kgが完売するほどの盛況ぶりで、店内は終日賑わいを見せた。eciR内テイクアウトコーナー「TEMARI」では、カラフルで見た目がかわいいと評判の「フルーツ酢ドリンク」を通常より50円引きで販売し、こちらも大好評だった。

ご来店いただきましたお客様に、心より感謝申し上げます。

【青果課 浅沼】

農業
振興部

まあぶフェスタ2019



7月7日、まあぶ公園特設会場で「まあぶフェスタ2019」が開催された。会場には市内の飲食店などが屋台を出店し、当JA女性部は北海道で唯一栽培されている黒米『きたのむらさき』を使用したちらし寿司180食を販売した。また当JA多度志加工部会が笹団子の販売、青果部が一回200円できゅうりとピーマンの詰め放題を出店し好評を得た。

ステージで行われた紅白玉入れ大会や大抽選会には家族連れなど多くの来場者が参加し、会場は終日賑わいを見せた。

【営農企画課 石野】

業部 農振興

JAきたそらち女性部

支部長研修

女性部副部長

吉田 祥子 (深川支部)

6月27日、28日にJAきたそらち女性部の支部長研修を行いました。本来8名の支部長が参加する研修ですが、5、6月の高温により青果物の生育が進み、家業を離れることができず欠席された方もおり5名で研修に行っていました。

まずスタートに、6月から稼働している「JAきたそらち精米施設」を見学しました。石抜き・精米・選別と進み、異物を抜く装置を2度、3度と通り製品へ。精米機では3段階の摩擦で胴割れを少なく、無洗米加工では、今流行りの「タピオカ」を使用し糠を取り除くという「米に優しい」製造方法でした。以前の施設より短時間で大量の製品ができることで、職員の皆さんの労働時間の負担も軽減されているそうです。

次に、小樽市内にある「田中酒造(株) 亀甲蔵」を見学しました。

北海道産米を100%使用した地酒造りを一年中行っており、当JAから酒米「彗星」を出荷していることもあり見学させていただきました。

店内では製造工程を説明していただき、本醸造のものは50%、米1粒がほぼ半分になるまでに精米することで雑味のない飲みやすいお酒になるそうです。その時に出来た「赤糠」は漬物用、「白糠」は米粉として捨てることなく使用されているとのことでした。

翌日は、同じく小樽市内にある和菓子処つくし牧田において和菓子の「練りきり」の製作体験を行いました。用意された「餡玉」から「菊」「紫陽花」「桜」の3種類を作りました。「綺麗な丸にならない」、「箸を用いて付ける線の幅が広い」、「狭い」などの声飛び交いながら悪戦苦闘。簡単そうに思っていました、最後に作った「桜」は丸い玉に5枚の花びらをイメージした線を



JAきたそらち精米施設にて



田中酒造(株) 亀甲蔵にて



和菓子処 つくし牧田にて



入れるのですが、5等分に均等に線を付けるのが難しく、6枚になる人も…。教えてくれた店長さんから「5枚はソメイヨシノの桜、6枚は八重桜」と思えば、それもアリです」と笑いながらフォローしてくださいました。

宿泊先では、最近の異常気象の話になり3年前や昨年の水害、雷が田んぼに落ちサークルのようになったこと、北竜の方は以前竜巻に遭遇し、慌てて逃げ難を逃れたことなど皆さんが体験した話を聞くことができ、改めて天災の怖さを感じました。

この2日間楽しく学び、笑い、大切な時間を過ごさせていただき、支部長間の親睦も深まりこれからの活動の励みになります。大変有意義で楽しい時間を共有させて頂きありがとうございました。

農業
振興部

女性部各支部 視察研修も実施

女性部各支部では、毎年この時期に視察研修を行っており、個人では中々行くことの出来ない場所での体験を女性部活動や農作業に活用しています。

※音江支部は広報誌9月号に掲載、一巳支部、納内支部、北竜支部の3支部は秋作業後に実施次第広報誌に掲載します。

<深川支部> 7月3日



千歳市
航空自衛隊千歳基地・新千歳空港・麒麟ビール
千歳工場を見学

<多度志支部> 7月3日



旭川市
ハーバリウム製作体験、旭川鶏卵流通センター・
北鎮記念館を見学

<雨竜支部> 7月2日



札幌市
北海道大学植物園・札幌市円山動物園を見学

<幌加内支部> 7月9日



増毛町
さくらんぼ狩り、国稀酒造(株)を見学

JAきたそらち青年部

部員交流会を開催



6月17日、深川支所研修センターにて「青年部部員交流会」が開催され、8支部から部員59名とJA職員9名の計68名が参加した。各支部の交流や意見交換の場として毎年開催しており、今年も昨年と同様にミニバレーボール大会を行った。

各支部混合チームで優勝を目指し、プレー中には笑顔がこぼれるなど部員同士交流を深めながら競技を楽しんだ。「次期本部長チーム」が見事な連携を見せ優勝を勝ち取った。

競技終了後は懇親会を行い、チームごとにそれぞれテーブルを囲み交流を深めた。

【営農企画課 石野】



農業
振興部



JA空知青年部連合会 北ブロック球技大会

6月21日、秩父別町ファミリースポーツセンターでJA空知青年部連合会北ブロック第43回球技大会が開催された。JAきたそらち青年部・JA北いぶき青年部・NOSAI道央・JA職員ら254名が参加し、12チーム対抗のソフトボール大会が行われた。参加者は日頃の疲れを忘れプレーを楽しみ、熱戦の結果JA北いぶき沼田支部が優勝し、JAきたそらち北竜支部が準優勝という結果になった。球技大会終了後は、秩父別町ふれあいプラザで懇親会を行い日々の農作業などを話題に交流を深めた。

【営農企画課 石野】





GPS基地局設置に伴うホクレン説明会 開催

7月3日、今年度当JA管内に設置を計画しているGPS基地局の説明会を営農センターで開催し、当JA役職員や組合員など約60名が出席した。

当JAでは以前より基地局の設置について検討を進めており、スマート農業への関心や、ホクレンが開発した『ホクレンRTKシステム』の利用により組合員の負担軽減を図ることなどを目的に、JAきたそらち全域が利用条件に応じ全て対応できる様、基地局を営農センター、北竜支所、幌加内支所等の3～4か所に設置する計画をしている。基地局の設置に伴い、職員には運営や管理方法など、組合員には基地局のシステムや導入方法などを理解してもらおうと、ホクレンから2名の技師を招き説明会を開いた。

ホクレン資材事業本部の川上智義技師は、トラクターなどの作業経路をガイドするGPSガイダンスシステムについて、誤差が±2.5cmと高い精度の測位を実現した『RTK測位方式』を使用することや、導入を検討する際のポイントなどを説明した。

また、ホクレン岩見沢支所営農支援室の四辻進一技師は、ホクレンRTKシステム利用について、組

合員等の利用者とJA、ホクレンの3者が相互理解のもと各々の役割と責任を分担し協力して自主運営し、低コストの実現・利用機会の拡大を図っていく運営体系であることや、基地局を利用する際の経費などを説明した。

農業振興部の遠藤康博部長は、「地域農業を取り巻く環境は、高齢化による農家戸数の減少を背景に『経営規模の大型化』『規模拡大による労働力不足』等の様々な問題に直面している。スマート農業の導入は問題解決のための一つの手法であり、今後、組合員の積極的な基地局活用を期待したい」と今後の展望を話す。



「北育ち元気塾」 第3回研修会を開催

農業
振興部

6月25日、深川市と妹背牛町で北育ち元気塾の第3回研修会が行われ、元気塾生7名が出席した。

初めに当JA本所にて、空知農業改良普及センター北空知支所の普及職員より「幼穂形成期の管理といもち病防除」について講義と実習を受け、塾生は実際に稲の幼穂形成期の調査を行った。その後、(株)菱農 深川店を訪問し、同店店長より田植機の整備点検について講習を受けた。また北海道農業士 関吉淳氏(妹背牛町)を訪問し、複合経営の事例紹介「我が家の経営」の講話を受け、水稻無農薬栽培や法人経営について学んだ。

【営農企画課 石野】



組合員の集い

各地区で開催

昨年は、豪雨災害の影響で雨竜支所と北竜支所のみでの開催となった「組合員の集い」が今年は予定通り開催されました。参加された組合員の皆様は忙しい農作業の合間に家族や仲間と楽しいひとときを過ごした。各地区の特産品などが当たる抽選会では、青年部員が司会進行で盛り上げ、早食い競争などのアトラクションも行われた。

深川支所
音江地区

7/2



深川支所
メム地区

7/8



深川支所
納内地区

7/9



深川支所
一已地区

7/10



雨竜支所

7/11



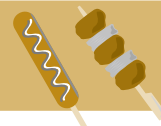
北竜支所

7/18





多度志町民の集い



7月12日、多度志地区農業振興協議会主催の「2019 多度志町民の集い」が開催された。このイベントは、町民が一同に集まる機会を作ろうと同協議会が企画し、今年度で3回目の開催となった。会場には多度志そば部会のかけそばやJA女性部のみそおでん、JAフレッシュミズの焼きそば、フランクフルト、JA青年部の焼き鳥などの屋台が並んだ。

ステージでは小樽市出身のマジシャン「たち」によるマジックショーや抽選会、早食い大会などが行われ会場は終始賑わいを見せた。



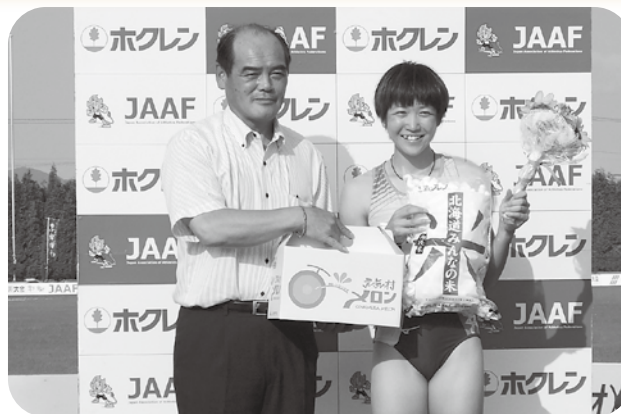
ホクレン・ディスタンスチャレンジ2019 深川大会 開催

7月9日、深川市陸上競技場で、陸上競技中距離のトップランナーが集まる「ホクレン・ディスタンスチャレンジ2019」の深川大会が開催され、国内外の中・長距離ランナー約450人が参加した。道内5ヶ所を転戦して行われる同大会の第2戦目となる深川大会では、全20レースが行われた。ホクレン陸上部からは宮内宏子選手や清水美穂選手など5名が出場し力走を見せた。

今大会には、青山学院大学時代「3代目山の神」として活躍した神野大地選手（セルソース）など、第一線で活躍するランナーも出場し、応援に駆け付けた観客から大きな声援と拍手が送られた。各レースの優勝者には、同大会協賛のホクレンから北海道産米、深川市からは深川産メロンなどが贈呈され、当JAの柏木孝文組合長やふかがわ肉牛組合の馬場勇二組合長などがプレゼンターを務めた。



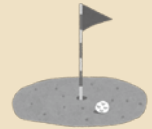
神野大地選手（左から3人目）



プレゼンターを務めた柏木組合長

音江年金友の会

ゲートボール大会・パークゴルフ大会



音江年金友の会（正田貞雄会長、会員452名）は、健康の増進と親睦を深めることを目的として、6月下旬と7月上旬に恒例のゲートボール大会とパークゴルフ大会を開催した。

6月28日、ゲートボール大会が音江公民館前ゲートボール場にて開催された。当日は気温が低く肌寒い一日となったが、参加した会員14名は寒さを感じさせない熱いプレーを繰り広げ、「沖里河チーム」が優勝した。大会後は、音江公民館にて昼食を取りつつ歓談を楽しんだ。



6/28 音江公民館前ゲートボール場にて



7/5 石狩緑地パークゴルフ場にて

7月5日、パークゴルフ大会が石狩緑地パークゴルフ場にて開催された。参加した会員15名は和気あいあいとプレーを楽しみ、2時間ほどで3コース、27ホールを回った。男性の部は吉澤恒夫さん、女性の部は吉澤幸子さんが優勝した。

【金融共済音江支所 梅村】

深川支所年金友の会

パークゴルフ大会

金融共済部



6月27日、深川支所年金友の会（金谷義雄会長、会員597名）が、石狩緑地パークゴルフ場でパークゴルフ大会を開催した。当日は晴天に恵まれ絶好のコンディションの中、会員41名が2コース、18ホールを回った。参加者は日頃の練習の成果を発揮し、親睦を深め楽しみながらプレーした。

※成績は下記のとおり

【金融共済深川支所 大島】

	男性	女性
優勝	増田 三郎さん	定岡里代子さん
準優勝	沖原 得一さん	村田 信子さん

金融
共済部

納内年金友の会

研修旅行を実施

6月26日から27日の2日間、納内年金友の会（撫養 潔会長、会員342名）が研修旅行を実施し、会員26名が参加した。

1日目は、札幌市の「福山醸造トモエ」で醤油の製造工場を見学し、北海道産の原料・素材にこだわった製法などの説明を受けた。宿泊先の「定山溪グランドホテル瑞苑」では、長旅の疲れを温泉で癒し、美味しい料理やカラオケで大いに盛り上がりで楽しい一時を過ごした。

2日目は、余市町の「柿崎商店 海鮮工房」で新鮮な海鮮を昼食で頂き、「余市ワイナリー」では工場を見学し芳醇な余市ワインを味わった。

参加した会員は、あっという間の2日間研修旅行を大いに楽しみ親睦を深めた。

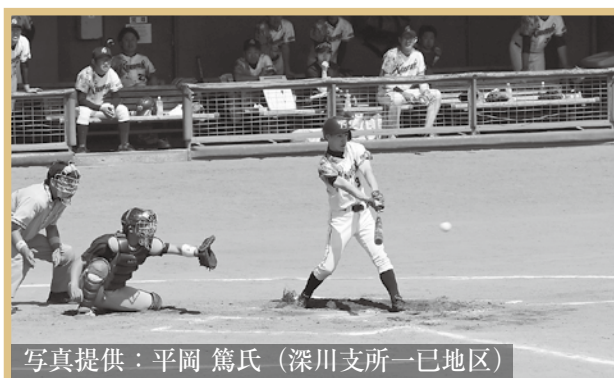
【金融共済納内支所 平山】



6月24日、26日に、石狩緑地球場と深川市民球場で開催された「第62回空知管内JA野球大会」でJAきたそらち野球部が3年ぶり2回目の優勝を果たした。

1試合目はJAながめまと対戦し3回コールドで10対0、準決勝はJAピンネと対戦し4対0で勝利した。迎えた決勝戦では、昨年の同大会で敗れ優勝を逃したJAいわみざわとのリベンジマッチとなり、2回に山田（北竜支所営農課）の適時打で1点を先制、その後は息詰まる投手戦の末1対0で勝利し、優勝を飾った。期待のルーキー堀口（雨竜支所営農課）は被安打2、無四球の見事な完封勝利を収めた。

表彰式では勝利監督賞を小島（深川支所深川米穀施設課）、打撃賞を山田、最優秀選手賞を堀口が受賞した。同部は空知管内を代表して、8月27日、28日に江別市で行われる全道大会に出場する。



写真提供：平岡 篤氏（深川支所一已地区）

青年部雨竜支部 「田んぼアート」今年もお目見え

雨竜支所

青年部雨竜支部（田岡隼人支部長、部員30名）による、雨竜町道の駅「田園の里うりゅう」横の「田んぼアート」が見ごろを迎えている。「田んぼアート」は、毎年同支部が主食用やカラフルな鑑賞用の水稻苗を使って巨大な絵を作り出すもので、今年で11回目となる。



同町立雨竜小学校の6年生が町の開拓130年をテーマに、町のカントリーサインにも描かれている雨竜沼のミズバショウなどのデザインを考案した。

6月12日に、青年部員22名とデザインを考えた児童10名、当JA職員などが手作業で田植えを行い、10aの水田に緑（ななつぼし）と赤、白、黄の4色の苗、約1万8千株を植えた。同支部の田岡支部長は、「児童と協力して作ったアートを見て頂くことで、雨竜町と『うりゅう米』のアピールになれば」と話す。



アートの見頃は8月中旬まで続き、圃場横のやぐら（約5m）からは鮮やかな彩りを見せる稲の芸術を一望することが可能となっている。

ボランティア花菜

幌加内町役場前で花植えボランティア

幌加内支所

7月7日、ボランティア花菜（井上信子会長、会員13名）は、幌加内町役場前の花壇に花植えを行った。同町役場前は、毎年9月に行われる幌加内町そば祭りの会場となっており、花を植えることで会場が少しでも華やげばとの思いで花植えを実施した。

幌加内高校より赤・白・黄・ピンク・オレンジの5色の花苗を提供してもらい、約18㎡の花壇に『レイワ（令和）』という文字を描いた。お立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

【幌加内支所 岩本】



販売部 畜産課からのお知らせ

今年も開催!! 深川焼肉 フェスタ

ふかがわ肉牛組合主催の「深川焼肉フェスタ」を8月10日（土）に開催します。このフェスタは、ブランド化を目指す「深川牛」を多くの方に味わっていただきたいと同組合が2010年にスタートさせ、今年で10回目を迎えます。チケットは1枚2,500円で、牛肩ロース・ホルモンセットと交換となります。当日は、「深川牛ロースブロック10kg」を目玉に豪華賞品が当たる抽選会を開催します。

夏のひと時に美味しい深川牛を堪能していただきたいと思いますので、ぜひご参加ください。

【畜産課 養口】



チケットはJA販売部畜産課・ふかがわ肉牛組合生産者で販売いたします。



昨年の深川焼肉フェスタの様子

< 深川焼肉フェスタ詳細 >

日時：令和元年8月10日（土）

開演 午後3時、抽選会 午後4時 ※雨天決行

場所：JAきたそらち 一已町7丁目倉庫内

（深川市一已字一已8093番地）

お問合せ：販売部畜産課 0164-26-0132

健康百科

『発声』と『構音』

医療法人社団 本間クリニック

院長 本間 裕



の形を変化させて、母音や子音となり、その結果言葉が作られます。これを『構音』といいます。発声と構音がどちらも上手にできて、初めて言語として意味のある音が作られるのです。

発声は、ことばの元になる音を作るのが重要なみならず、とりわけ歌を歌いあるいは聴くことで喜びや悲しみなどの感情を呼び起こします。歌手の歌声で感動した経験のある方も多いでしょうし、政治家の演説でもまたしかりです。声帯に病気があると、うまく発声することができなくなるだけでなく、会話に消極的なことでもあります。声帯の病気には喉頭炎、ポリープ、喉頭がんなどがあります。

言語は生後の学習で習得されるので、耳が聞こえないと身につきません。日本語が話されている社会で育った人は日本語が、英語が話されている所では英語が自然に習得されるわけです。生まれつき聞こえが悪かったり、構音器官の障害があることばの発達が妨げられる可能性があります。また脳血管障害やパーキンソン病などの中枢疾患によつて構音障害が生じ、ことばが不明瞭になることもあります。このような状態は、主として神経内科やリハビリテーション科において取り扱われています。耳鼻咽喉科は聴覚と発声器官、そして構音器官を診療の対象としています。声や話しことばに異常がある時は、まず耳鼻咽喉科医を受診して相談されることをお勧めいたします。

さて、『話しことば』のもととなる音声（こえ）

はどのようにして発生するのでしょうか。呼吸をすると、鼻および口から肺までの「気道」に空気の流れが生じます。息を吐くときに、肺から口に向けて送り出された空気が「声帯」を振動させて音を出します。これが『発声』です。声帯は声の音程を変化させることができますが、言語として意味のある音が作られている訳ではありません。声帯より口側にある、舌、軟口蓋、口唇、頬、歯などが、鼻腔、口腔、咽頭



石田邦雄の

農業紡ぎ愛

第3回

令和元年を組織改革元年に

去る7月4日の「サムライ塾」にて、これからのJAきたそらちを支えていくであろう主査7名のサムライ諸君にメッセージを送らせて頂きました。メインのタイトルは「管理職に求められる仕事力と人間力」、サブタイトルが「これからのJAを担う一人として」でした。

彼らはまだ実際には管理職ではありません。でもその将来を大きく嘱望されている方々です。そこであえて、そうした期待をこめ「管理職」という言葉を使った次第です。私は彼らの主査という仕事と、課長なりになつての管理職との大きな違いは「管理をされる側か、管理をする側か」のどちらに身を置くかであり、業務的には責任の重さや、みるべき視点の広さの違い等があるものの、内容的にはさして変わりがないのではと思っています。

組織が持つている大きな機能には「仕事」と「人」、2つの側面があり、その機能を受けて、管理職は高所からの管理を、主査はより現場に近い監督的な役割を担っているといえるでしょう。ですから私は係長なり主査の立場は「管理者ではないものの、将来の管理者予備軍として、管理者

になる為の勉強の期間」と位置づけながら行っているのですがいかがでしょうか。

ところでその研修の中で、経営理念の話になった時、この5月に「CREDO」が作成され全職員に配付されているのを知りました。「CREDO」とは聞きなれない言葉かもしれませんが、これは職員の方々が、いつも気軽にみられるようにポケット判にした職員が知っておくべき、組織人としての心構え等が書かれた理念カードです。例えば身近でいえば、砂川市にあるお菓子の「ホリブループ」もこれを社員の必携とすることで共有化を図っています。

さて、それでは貴JAの「CREDO」の内容ですが経営理念から始まり、ビジョンや共有価値観など、とても大事なことが並んでいます。更に職員個々の段階まで落としこんだのが行動原則です。「自律利他」「自立主体」を重んじ行動します」とあります。各人がこれで動いてくれたら立派な組織になるのは間違いありません。せっかくこうして理念カードが渡されたのですから、職員個々は互いにこれに向かっていきたいものです。ちなみにサムライの諸君が、肝心な経営理念などが残念ながら満足にいえず、「ぜひ、次回ま

では明確に伝えるようにして下さい」と注文をつけさせて頂きました。この5月に長年続いた平成が令和へと元号が変わりました。奇しくも職員の方々に「CREDO」が渡された月と同じです。としたら「令和元年を組織改革元年に」…そうした思いで、職員はもとより、組合員の皆さんも一丸となつて、より良いJAを、そして組合員の皆さんとの関係強化を目指すスタートの年度にしたいものです。

それではまた、出来秋の頃にお会いしましょう。



【著者】石田邦雄（いしだくにお）氏

1946年北海道新得町生まれ。(有)石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかり易い研修が特徴。著書に「産業カウンセリング」や「縁を結び、人を育む」など多数。

金融共済部 融資課からのお知らせ

JAフルスペックローン

通常金利 **1.80%**（借入期間 5 年の場合）ところ
今なら 100 万円以上のお借入で JA バンク利子補給により

3年間

0.80%



**格納庫建設にも
対応可能！**



**農機具購入、農機具修理等も
対応可能！**

**他金融機関の農機具ローン、
メーカークレジット借換推進中！
ご相談は各店舗窓口へ！**

- | | |
|-------|---|
| 借入対象者 | 当 JA の 正組合員（正組合員が構成員となる団体を含む） |
| お使いみち | 農機具の購入・パイプハウス・農機具格納庫の建設資金・残存期間 10 年以内の他金融機関の農機具ローン借換資金、農機具修理等 |
| お借入金額 | 事業費の範囲内 |
| ご返済期間 | 原則 1 年以上 10 年 以内
（他金融機関の農機具ローンの 借換資金場合は、当初借入期間の残存期間以内） |
| ご返済方法 | 原則として元金均等返済とします。 |
| 保 証 | 原則、北海道農業信用基金協会の保証が必要となります。
別途、保証料がかかります。（0.30% ～ 0.40%） |

JAきたそらち

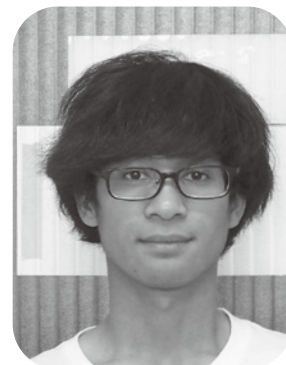
本 所 TEL 0164-22-6618	多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111	雨 竜 支 所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171	北 竜 支 所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211	幌加内支所 TEL 0165-35-2024



新風



農家後継者



氏名 佐藤 マルコ さん

年齢 21歳

就農年 平成30年2月

地区 深川支所 音江地区

経営主 佐藤マリアジェンマーベラ さん

経営面積 0.8 ha

(そば・胡瓜)

☆目指す農業

農業に興味を抱いたのは、高校3年間の授業を通して作物の生育・栽培方法を学んだ事で、就農のきっかけになりました。農業の楽しさを教えてくれた高校の先生方には感謝しております。

将来の夢と目標は、たくさんの人に美味しいと言ってもらえるような胡瓜を作る事です。そのためには、多くの先輩方とコミュニケーションをとることが大切だと思っております。

まだまだ半人前の自分ですが、1日でも早く一人前の経営者になれるよう頑張りたいと思いますので、皆様のご指導をよろしくお願い致します。

農家後継者



氏名 吉田 隆雄 さん

年齢 19歳

就農年 平成31年4月

地区 深川支所 音江地区

経営主 吉田 秀一さん

経営面積 1.8 ha

(そば・胡瓜)

☆目指す農業

今年から就農したばかりで、まだまだ分からない事ばかりですが、地域の先輩・仲間、生産部会等の先輩から農業経営に関する様々な事を学び、将来自分が目指す経営に役立てていきたいと思っております。

なにより、父が築いてきた経営を一から学び、さらなる規模拡大を目指していきたいと思っておりますので、皆様のご指導をよろしくお願い致します。

【新規就農希望者受入農家・新規就農希望者募集】

JAきたそらちでは、新規就農希望者を受け入れていただける生産者を募集しております。興味がある方は、下記にお問い合わせ願います。

また、JAホームページ・新農業人フェア等で新規就農者の募集も実施しておりますので、お気軽にご相談下さい。

◇ お問い合わせ先：農業振興部 営農企画課【TEL：0164-26-0134】

◇ ホームページ：http://www.ja-kitasorachi.com/farmer/index.html

農業振興部からのお知らせ

元気村・夢の農村塾 講演会

出逢いは人生の種まき

フリーパーソナリティ

～ 田村美香 が語る農泊の魅力！～



田村美香プロフィール

- ・H3 千歳市立真町中学校 非常勤講師(理科)
- ・H4 HBC契約アナウンサーへ
- ・H6 フリーパーソナリティへ
- ・H8～H21/6
- HBCラジオ 『カーナビラジオ午後一番!』
- ・H21/10～H28/3
- HBCラジオ 『山ちゃん美香の朝ドキッ!』
- ・現在、
- HBCラジオ 『気分上昇ワイドナルミッツ!』
- 『気ままにWEEKEND』 出演中!

令和元年

日時

8月27日(火)

受付開始	14:30
講演会	15:00
終了	17:00

入場無料

場所

JAきたそらち
営農センター 大会議室
(深川市メム10号線山3線)

元気村・夢の農村塾とは

深川市・妹背牛町・沼田町・秩父別町・北竜町の農業者を中心に地域のみんなでつくる農業体験、農村ホームステイを受け入れるグループです。



主催：元気村・夢の農村塾 協力：アグリ工房まあぶ

後援：JAきたそらち、JA北いぶき、(一財)北海道農業近代化技術研究センター
空知農業改良普及センター 北空知支所

お問い合わせ&参加申込先：アグリ工房まあぶ 内、担当：田中・石水 TEL0164-26-3333
～参加申込は8/17(土)まで～ ※定員60名になり次第〆切らせていただきます。

経済部 燃料課からのお知らせ

来て見て

予告

ガス展 2019



開催日 8月24日(土)~25日(日)

開催場所 深川市2条4番7号 空知ガス(株)



今年もやります!

来場者プレゼント!

成約者プレゼント!



焼き鳥・フライドポテトなども販売します!

最新のガス・暖房器具など、お買い得商品を多数ご用意してお待ちしております

主催



空知ガス(株)

JAきたそらち
JA北いぶき
株式会社セキ
(有) マルシメ川嶋商店
(有) 高橋商店

空知ガス(株) ショールーム ガスハウス 【LiPPL】

深川市2条4番7号

TEL 0164-22-6611

http://mypage.fukanavi.com/sora_gas/index.html



JA グループ通信

JA 北海道中央会



JAグループ北海道は、6月13日に吉川農林水産大臣、森山TPP等対策本部長をはじめとした自民党農林幹部、道内選出与野党国会議員に対し、日米貿易協定交渉に関する生産現場の不安や懸念を訴えるための要請を行いました。要請には、JA北海道中央会、連合会の役員ら約20名が参加しました。トランプ大統領がTPPには縛られないことや、期限ありきの合意について言及したことを受け、生産現場で戸惑いが広がっていることから、改めて国内農業に与える影響を検証し、期限ありきの交渉を行わないことなどを求めました。

吉川農林水産大臣からは、農業関係についてしっかり守る考えがあることや、森山本部長からは、早期の合意に関して否定的な見方が示された他、野村農林部会長からは、昨年9月の日米共同声明以上のものにはならない、といった発言がありました。今後も、北海道の農家、組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



JA 北海道信連



毎年6月、JAバンクで年金をお受取りされている方を対象に、窓口で「招福ようかん」をプレゼントする「年金感謝ウィーク」を開催しています。今年は、6月10日～28日の期間で開催しました。期間中、北海道警察と連携して、特殊詐欺被害防止に向けた合同の啓発活動を全道6JA（6店舗）で実施しました。JAバンク北海道は、地域住民の暮らしや財産を守る地域貢献活動に引き続き取り組んで参ります。



JA 共済連北海道



JA共済連は、（一財）北海道交通安全協会に飲酒運転撲滅うちわ5万本、（公社）北海道交通安全推進委員会に夏の交通安全運動ポスター9千枚・チラシ5万枚を寄贈しました。「全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」2018年度入賞作品が掲載されており、全道各地で掲示やイベント会場で配布される予定です。このような活動で地域住民の安全意識の高揚を図り、安心と安全の地域づくりに貢献してまいります。



ホクレン



ホクレンは首都圏の主婦層を対象に4月25日から27日までの期間で東京ビッグサイトに開催された「第12回ホビーッキングフェア」の手作り料理イベント「ふれあいクッキング☆スタジアム」に出展し、北海道産馬鈴しょでん粉100%の顆粒片栗粉「とろりんぱっ」をPRしました。約180名を超える主婦の皆様が「とろりんぱっ」を使った「カリカリ豚丼」の作り方を体験し、同商品の手軽さに驚き声をあげていました。



JA 北海道厚生連



遠軽厚生病院では、新たな健診（オプション）として、脾臓・胆のうドック及び乳腺エコー検査を開始いたします。受診できる人数については限りがございますが、皆さまの健康のお役に立てるよう今後もニーズに合った検診を提供していきたいと思います。

詳細は、病院へお問い合わせいただくかホームページ等でご確認ください。

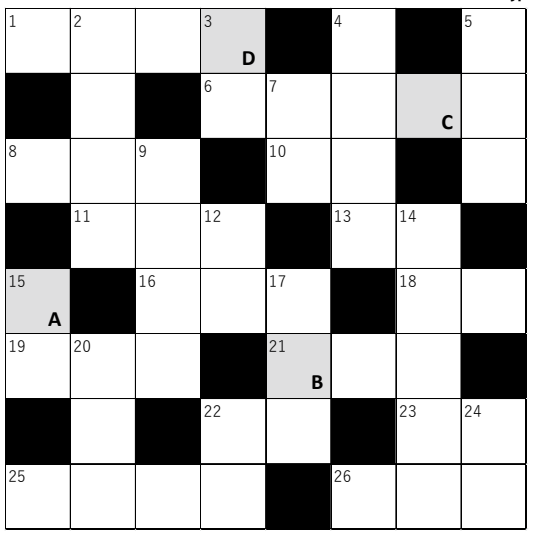


JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D

6月号の正解は「アジサイ」でした。
正解者の中から抽選で3名が選ばれました。
深川市 鈴木恵美子 様
深川市 三好 友恵 様
幌加内町 中山 春江 様

【タテのカギ】

- 2 水をあびること
- 3 げっ歯類の小型動物、歯が鋭く尾が丸くて太い
- 4 「暁」
- 5 野球で、打数に対する安打の比率
- 7 米を作るために植えられる草
- 9 地球の緯度0度を示す線
- 12 太陽が沈む方角
- 14 熱帯のように夜になっても涼しくならず、寝苦しい夜
- 15 腕の関節部分
- 17 サクラマスと同種で、降海せずに一生を河川で暮らす魚
- 20 学校の歌として正式に定められたもの
- 22 快晴の日の空の色
- 24 日本古来の製法による手すきの紙

【ヨコのカギ】

- 1 黄色がかった緑色
- 6 目隠しをして、棒でスイカを打ち割る遊び
- 8 寝ている間にかく汗
- 10 体温計で計るもの
- 11 水着の中でも特に露出度が高いツーピースの女性用水着
- 13 臼に入れた餅をつくときに用いる木製の道具
- 16 土や砂
- 18 魚を釣ること
- 19 四季折々の気候、〇〇〇の挨拶
- 21 目の上下にあり、目を開いたり閉じたりする皮
- 22 天気の種類、雲から降る水のしずく
- 23 動かすことが出来ないほどの大きな石
- 25 プラクトンの大量発生で海水の色が赤や茶色に変わる現象
- 26 大豆や緑豆を水につけて、暗いところで芽を出させたもの

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。
締切8月31日消印有効で当選者とクイズの答えは10月号に掲載します。
【送り先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号
JAきたそらち総合企画室企画広報課 FAXの場合は 0164-22-8611

七月俳句

●雨電俳句会

雨降らばいよ彩濃く草茂る
畑を打つ農夫まるごと日をまとい
茄子漬や姑に近づくその色に
空ひとつ世界とつなぐ虹の橋
さくらんぼ小さきほほをふくらませ
夏めくやテニススコートのリズム音
腰おろす背中を過ぎる風涼し

有田 茉莉
大林アヤ子
北川 満江
小山 邦男
松本 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

●「道」俳句会 北電支部

早稲の田に只立ちつくす離郷人
四葩咲き会話の弾む老夫婦
子育てのバトンは子等へ金魚草
青田風重ね重なり山を押す
遠き雨消えてはならぬ雲の峰
亡き父の一徹愛す山わさび
朝刊に俳句の記事や薄暑来る
葉桜や年毎に減るクラス会

山本 玲子
阿部れい子
吉尾 広子
山岸 正俊
山下 好晴
佐光久美子
杉本 隆文
高田 紀子

●土筆俳句会

瘦せ犬に戯れるごと夏の蝶
老鶯の声や山容ゆるびたる
巨像曳く揃いの法被葱坊す
歓声に庭盛り上がる芝桜
鏡台の母の香水明治の香
夏祭買ふは一つと母子連れ
おおさかのテニス敗退薄昼寝

高尾美津子
池田 美知
坂本 朱実
引地紀代子
山川 輝子
南川富美子
小橋 厚子

第7回理事会 〈令和元年6月27日開催〉

1. 関係団体等諸会議について
2. 第1四半期監査報告について
3. 令和元年度 内部監査結果定期報告
4. 令和元年度 上半期決算実地棚卸立会計画について
5. 組合員の加入脱退について
6. 財務報告及び事業実績について
7. 職員の人事について
8. 固定資産の取得・修繕・処分について
9. 貸出金の貸付報告について
10. 平成30年産「収入減少影響緩和対策交付金」の実績について
11. 農作物生育状況（6月15日現在）について
12. 令和元年度 JA検査員配置体制と秋作業人員体制について

議案第1号 平成30年度 決算監査に対する回答について

議案第2号 出資金の持分譲渡について

議案第3号 出資金持分相当額の仮払について

13. 令和元年産米 作付面積・出荷契約・特定米穀予約申込状況について
14. 令和元年産 畑作物作付状況について
15. 令和元年産 小麦取扱いについて
16. 令和元年産 玄そば出荷契約数量について
17. 畜産販売実績について
18. 青果・花き集荷販売実績について
19. 令和元肥料年度 肥料価格の設定について
20. 令和2年度 春肥料及び温材予約推進の実施について
21. 令和元年 温床資材予約奨励金の支払について
22. 経済部事業実績について

議案第4号 貸出金の貸付決定について

議案第5号 令和元年度「農地耕作条件改善事業」の実施に伴う入札業者の選定について



組合員の動き

(令和元年6月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,402	9	24	1,387
	団体	85	0	0	85
准組合員	個人	5,988	53	35	6,006
	団体	329	1	0	330
正組合員戸数		1,015	1	13	1,003



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和元年6月実績

○累計（H30.12～R1.6）

発電電力 **60,298kWh**

発電電力 **317,608kWh**

計画対比 + 9,163kWh

計画対比 + 80,819kWh

前年対比 + 11,559kWh

前年対比 + 27,541kWh

■発行／きたそらち農業協同組合 〒074-0022 北海道深川市北光町1丁目10番10号 TEL 0164 (22) 6600 FAX 0164 (22) 8611
<http://www.ja-kitasorachi.com> ■編集／総合企画室企画広報課 ■印刷／株式会社 須田製版